



Food and Agriculture  
Organization of the  
United Nations



World Health  
Organization



2021年6月7日

世界フードセーフティーデー (World Food Safety DAY)

# 世界フードセーフティーデー 2021へのガイド

健康な明日のために、今、安全な食品を



# さあ、はじめよう！

私達が食べる食品は、それを育て、加工し、輸送し、貯蔵し、販売し、調理し、そして提供する、全ての人のひたむきな努力によって、安全に保たれています。安全な食品は、健全な生活、健全な経済、健全な地球、そして健全な未来に貢献します。

フードセーフティーは、あなたの仕事でもあります。家庭や日常生活で、フードセーフティーを実践することが、食品由来の疾病を回避するのに役立ちます。

気持ちを盛りあげ、そして世界フードセーフティデーに参加するために、このガイドを使って下さい！

## スローガン

 “フードセーフティーはみんなの仕事”

### 行動しよう

#### 1. 安全であることを確実にしよう

政府は、人々のために、食品が安全で栄養に富んでいることを確実にしなければなりません。

#### 2. 安全に育てよう

農家や食品製造者は、優良規範を採用する必要があります。

#### 3. 安全に保とう

事業者は、食品が安全であることを確実にしなければなりません。

#### 4. 何が安全かを知ろう

消費者は、安全で健全な食品について知る必要があります。

#### 5. フードセーフティーのためにチームを組もう

安全な食品と健康のために、一緒にとりくみましょう！

## “健康な明日のために、今、安全な食品を”

安全な食品の消費と生産は、人々に、そして地球と経済に対して、すぐにそして長期にわたり利益をもたらします。時の試練に耐えてきた伝統的な知識を尊重するのと同じように、デジタルイノベーションを受け入れ、科学的な解決を進めることによって、全ての人が安全で健全な食品を将来にわたり継続して利用できるようになります。

全ての人のために、私達のフードシステムは、安全な食品を十分に生産する必要があります。人間の、動物の、植物の、環境の、そして経済の健全の間にある、体系的なつながりを認識することが、私達が将来のニーズを満たすために役立ちます。持続可能な開発目標(SDGs)を満たすためには、公正で時に斬新な解決策と、強化された多様な分野のコラボレーションに基づく地域的な行動が不可欠です。

### コロナ禍のフードセーフティー

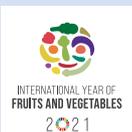
COVID-19が食品を介してうつらない一方で、衛生、抗菌剤耐性、人獣共通感染症、気候変動、食品偽装、そして食品システムのデジタル化による潜在的な利益といった、フードセーフティーに関連した問題への焦点が、パンデミックにより明確になりました。また、食品の生産と管理システムにおける弱点あるいは脆弱性も特定されました。食品へのアクセスを消費者が信頼できるようにしなければならないため、当面の間、食品サプライチェーンにおける混乱を最小にすることが、全ての政府の最優先事項の1つであり続けます。

フードセーフティーそしてフードセーフティーの要件を満たすためのリスクに基づくアプローチは、世界の食品供給を開かれたものに保ち、消費者が食品にアクセスできるようにします。フードセーフティーへの協調的な取組は、パンデミックの社会経済的影響を緩和するとともに、食品と農産物の貿易を促進し加速させ、次の人獣共通感染症のパンデミックの予防と食品システムの変革を助けることを通じて、長期にわたる各国のレジリエンスを高める助けとなります。

UNITED NATIONS DECADE OF  
**ACTION ON NUTRITION**  
2016-2025

### 国連における栄養に関する行動の10年： 安全で健康的な食事への取組

安全で、十分で、そして栄養豊富な食品にアクセスする権利が、全ての人にあります。食品を安全なままに保つための役に立つことによって、あなたは、あなたの家族とコミュニティの健康と栄養状態の改善に貢献しています。



### 2021年が、国連の「国際果物と野菜の年」であることを知っていましたか？

安全な果物と野菜を食べるように心がけてください！ただし、生で食べたり、特に皮をむかずにあるいはきれいな水で洗わずに食べると、病原菌に感染したり危険な化学物質にさらされたりするかも知れません。検査をしないと、微生物や化学物質による汚染を検出することは難しく、そのため、その食品を食べてしまうまで、普通は気づくことなく過ぎてしまいます。



### 2020年の国際植物の健康年は、2021年の7月まで延長されました！

フードセーフティーは、農場において、種を選び、どのように、そしてどこで作物を育て守るかを決めることから始まっています。安全で順調なフードチェーン、そして頑健なフードシステムには、健全な植物が不可欠です。

# 参加の仕方

世界フードセーフティーデーをお祝いするためのアイデアを、いくつかご紹介します。もし、物理的なイベントを開催することができないならば、バーチャルを受け入れて、デジタル空間に手を伸ばしてください。

## ● フードセーフティーに関する講演や実演を開催しよう

その人達がしていることや、その人達にとってフードセーフティーがどれだけ重要かを講演あるいは実演してもらうために、作物の栽培や、食品の加工、販売、または調理を行う人々を招待しましょう。このような講演や実演は、学校や職場、そして地域のコミュニティスペースでも開くことができます。

バーチャルにするには、講演や実演を録画し、そのビデオをソーシャルメディアのプラットフォームで共有します。コメントや議論をしてもらうようにする、あるいはソーシャルメディアのライブイベントにすれば、あなたが招待した人が、視聴者の質問に答えることができるようになります。

## ● メディアを巻き込もう

ラジオのインタビューや、トークショー、あるいはメディア会合を通して、フードセーフティーに関する知識を共有しましょう。フードセーフティーに関する報道を提案するために、地域の新聞社やテレビ局に連絡しましょう。

## ● コンテストを開きましょう

フードセーフティーに関連したポスターや写真のコンテストは、学校、大学、そしてコミュニティや職場で人気があります。フードセーフティーについて調べ、メッセージを伝えるために学んだことを映像にするように、参加者を促しましょう。公共のスペースに入賞作品を掲示することは、フードセーフティーへの意識を向上したままに保つための手段になります。

バーチャルにするには、ソーシャルメディアを通じてコンテストを宣伝し、電子的に応募作品を集めます。全ての参加者に、ポスターや写真を使うことを促します。また、学校あるいは職場のソーシャルメディアアカウントの管理者に、入賞作品をバーチャルに広めるように依頼します。

## ● ワークショップやカンファレンスを主催しよう

異なる業界、地域あるいは学問分野の食品の専門家と一緒に、その専門性を共有しましょう。そして、あなたの地域、学校、大学、コミュニティあるいは職場で、どのようにフードセーフティーを改善することができるのか、話し合しましょう。

バーチャルにするには、イベントをオンラインで開催したり、ウェビナーにしたりします。多数の参加者が議論するために利用することができる、簡単に使用できる様々なオンラインプラットフォームがあります。

## ● 野外活動をつづけよう

日々の生活を継続するため、そして健康を増進させるための鍵としてフードセーフティーを宣伝するために、マラソン、ウォーキング、ダンス、あるいはフィットネスクラスを開催しましょう。積極的に身体を動かすように人々を後押しすることが、あなたのコミュニティにおいて、フードセーフティーへの意識を高めるための良い方法になるでしょう。



# 参加の仕方

## ● 若者に関わってもらいましょう

学校、ユースセンターあるいは若者のイベントでのフードセーフティーの活動に、学生に関わってもらいましょう。このようにして、若者がフードセーフティーについて学ぶことができ、日々の単純な行動を変えることによって食品由来疾病の危険を避けることができるというメッセージを伝えることができます。バーチャルにするには、WHOが作成した「食品をより安全にするための5つの鍵」のような、教育資材を前もって共有しておき、その後オンラインで議論します。

## ● モンタージュ写真を作成しましょう

フードセーフティーのための良い取組を映像として記録し、そしてコラージュ、あるいは実際のフードセーフティーを示す展示を作りましょう。バーチャルにするには、オンラインギャラリーにあなたの映像をアップロードします。同じようにするように他の人を促します。そのようにすることの結果として、様々な視点に立ったフードセーフティーの全体像が得られます。

## ● 公表しましょう

たいしたことをする必要はありません。基材やお金、たくさんの方が関わる必要もありません。シンプルに、世界フードセーフティーデーに関することをソーシャルメディアに投稿することが、フードセーフティーへの認識を広めるのに役立ちます。

ハッシュタグ#WorldFoodSafetyDayを使って、フェイスブック、インスタグラム、ティックトック等のソーシャルメディアのチャンネルに共有しましょう。

## ● 個人的な話を集めましょう

食品産業で働いている人、農家、医療従事者、食品由来疾病に苦しんでいる人のお話を記録しましょう。経験の共有が、フードセーフティーがどれだけ重要かを理解するのに役立ちます。お話は、書くことも、描くことも、写真に撮ることも、歌うことも、ドラマにすることも、あるいは記録することもできます。バーチャルにするには、ブログ、ポッドキャスト、ビデオ、様々なソーシャルメディアのように、お話を共有する方法はたくさんあります。

## ● ビデオを作成しましょう

フードセーフティーに関する取組について、事業者インタビューあるいは記録させてもらいましょう。質問できるように、トピックスを調べましょう。友達や同僚、クラスメートや学生同士で、ビデオを共有しましょう。バーチャルにするには、Zoomでインタビューして、会社の、学校の、大学の、あるいはコミュニティのウェブサイト、ビデオを投稿します。インタビューをオンラインのストリームライブで行うことも、食品業界のツアアの記録を投稿することもできます。フィードバックしてもらうことやオンラインで議論することを勧めます。

## ● クリエイティブになりましょう！

フードセーフティーを学ぶための、そしてあなたの知識を共有するための手段はたくさんあります。アンケートをとったりクイズをしたりしましょう。友達とドラマを作ったり、演じたりしましょう。歌や詩を書いてみましょう。可能性は無限大です！バーチャルにするには、これら全てのことを、オンラインで実施し、記録し、共有することができます。



# キーメッセージ

## フードセーフティーなくして、フードセキュリティなし

安全でなければ食品ではありません。食品が安全な時にだけ、それを食事としてとることができ、皆さんが活動的で健康な生活を送るのに役立つのです。このことは、フードセキュリティの利用に関する側面としても知られています。

## 安全な食品が、ヒトの健康と幸せな暮らしに必要

世界保健機関は、細菌、ウイルス、寄生虫、毒素あるいは化学物質により汚染された食品を食べることを通じて、毎年6億人以上の人々が病気になり、42万人が亡くなっていると推定しています。しかし、食品由来疾病に関する包括的な調査データがどの地域についても利用できるわけではないため、これらの数字は氷山の一角に過ぎません。食品が安全でない時、ヒトは食品の栄養価の恩恵を受けることはできず、成長することも発達することもできません。

## 今日、フードセーフティーに投資することは、未来に報われる

安全な食品の生産は、市場へのアクセスと多産を可能にすることによって経済的な機会を改善します。同時に、サプライチェーンに沿った適正な取組は、持続可能性を改善し、環境へのダメージや廃棄しなければならない農産物の量を最小化します。安全でない、あるいは汚染された食品は、貿易の拒否、経済的な損失、そして食品のロスと廃棄につながります。

## ‘ワンヘルスアプローチ’がフードセーフティーを改善する

ヒト、動物、植物、そして環境の健康のつながりを認識する‘ワンヘルス’のような総合的なアプローチが、フードセーフティーには必要です。動物と植物の健康は、世界を養うために十分な食品を生産する農業にとって、極めて重要です。動物を健康に保つことは、同時に、人獣共通感染症の病原菌(動物とヒトとの間で伝染可能な病気の原因となる生物)、抗菌剤耐性菌などのリスクを最小化します。

## フードセーフティーは科学に基づく

食品が安全かどうかを確かめるために、見たり匂いを嗅いだりすることは、信頼できる方法ではありません。一方で科学者は、そのための試験やツールを開発しています。食品科学者、微生物学者、獣医師、医師、毒性学者等は、食品を安全にし、そして安全なまま保つために、どのような生産、加工、取扱、調理が必要なのかを助言します。フードチェーンを通してフードセーフティーの取組が採用されたとき、その結果として食品は安全になります。

## FAOとWHOは、食品を安全に保つための世界中の取組を支援する

役割の補完と長期の協調関係を通じて、FAOとWHOはグローバルなフードセーフティーと消費者の健康保護を支援するための様々な課題をカバーしています。FAOはフードサプライチェーンに沿ってフードセーフティーの課題に取組み、WHOは公衆衛生部門とともに食品由来疾病による負荷をより小さくするために働いています。FAOとWHOは、食品規格(Codex委員会)、科学的助言の提供(JECFA、JEMRA、JMPR、JEMNU)、緊急対応(INFOSAN)に関する共同プログラムを組んでいます。

## Codex委員会が策定する食品規格は健康保護と貿易促進に役立つ

合意に基づき、包括的で透明性の確保された方法によって、食品の安全と品質を確実なものにするために役立つ、科学に基づく国際規格やガイドラインそして実施規範を策定するために、FAO/WHO国際食品規格委員会(Codex委員会)には、両方の組織と189加盟国の専門知識が集められています。Codex委員会は、食品に関する全ての課題(汚染物質、衛生規範、表示、添加物、検査と認証、栄養、そして動物用医薬品と農薬の残留物)を取扱います。

各国政府が国際食品規格を採択すれば、農家や食品製造者は、安全な食品に対する消費者のニーズを満たすことができ、市場へのアクセスを拡大することができます。

### バーチャルイベントを開催するためのちょっとしたヒント

1. 聴衆について知りましょう。あなたが聴衆になって欲しい人々が参加するイベント、彼らが利用するソーシャルメディアのチャンネルあるいはプラットフォームを選択しましょう。
2. 計画は早めに立てましょう。
3. 日時とプラットフォームを選びましょう。聴衆になって欲しい人たちがいる場所とタイム・ゾーンを考慮しましょう。
4. 可能ならば、パスワードで保護されたミーティングを選びましょう。
5. 適切なホストとゲスト、フォーマットを見つけましょう。課題について知識があり、聴衆を引きつけることができる人を招待しましょう。
6. イベントを宣伝しましょう。イベントがいつ開催されどうすれば参加できるのかを、聴衆に知らせましょう。
7. より広く、聴衆に届くようにしましょう。必要な場合には、明確な言葉や字幕、あるいは翻訳を使いましょう。イベントをより身近に感じてもらうために、映像ツールを使用しましょう。ホストとゲストを選ぶ際には、ジェンダーのバランスと多様性を保つように配慮しましょう。
8. 技術的なトラブルに備えましょう。問題が起きた時に、そばにいて助けてくれるように誰かにお願いしましょう。

### キャンペーンの素材

世界フードセーフティーデー2021のために、以下の製品のデザインを、国連公用の6言語の全て(アラビア語、中国語、フランス語、英語、ロシア語、スペイン語)で利用することができます。

1. ポスター
2. ウェブバナー
3. イベントの背景、あるいはバナー
4. 小物-Tシャツ、帽子、バッグ、マグカップ、エプロン

これらの素材は、デジタル共有用の低解像度版、並びに印刷あるいは製品として使用するための高解像度版として、World Food Safety Day 2021 Asset Bank からダウンロードすることができます。大部分の製品が既に国連公用の6言語で利用できますが、現在利用できない製品も2021年の6月までにはアップロードされる予定です。

Trello boardで利用することのできるデジタルチャンネル上で、国連公用の6言語の全てで準備された無料の素材を共有することで、キャンペーンに参加しましょう。

英語のハッシュタグは以下の通りです。#WorldFoodSafetyDay #FoodSafety #SafeFood

あなたの計画について教えてください。また、あなたのイベントの写真やビデオを私達に送ってください。

[World-Food-Safety-Day@fao.org](mailto:World-Food-Safety-Day@fao.org)

## 国連は、フードセーフティを認めています

2018年、国連総会は、6月7日が世界フードセーフティデーであることを宣言する73/250決議 (resolution 73/250 proclaiming 7 June as World Food Safety Day)を採択しました。この決議には、全年齢層の個人、特に5才以下の子供と低所得地域で暮らす人々に影響する、食品由来疾病のグローバルな負荷が考慮されています。

決議には、“フードセーフティなくして、フードセキュリティなし”、そして“フードサプライチェーンがより複雑になった世界においては、フードセーフティにとって良くない何かの出来事が、公衆衛生や、貿易そして経済にネガティブな影響を与えるかも知れない”ことが書かれています。そして、フードセーフティの改善が、貿易、雇用そして貧困の緩和にポジティブに働くことも強調されています。

全てのレベルにおける意識を高め、科学の原則に基づき、世界貿易機関の取組と一致して、グローバルな食品安全への行動を奨励し促進するために、国連の日が定められました。Codex委員会の親組織である、国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機関(WHO)はともに、その他の関連機関と協力して、世界フードセーフティデーの遵守を促進するように勧められています。

## 一緒にお祝いしましょう

食品に由来するリスクの予防、検出、管理に役立つ行動に注意を向けそして励行させるために、2021年6月7日には、3回目となる世界フードセーフティデーをお祝いしましょう。このガイドは、世界フードセーフティデーのキャンペーンやイベントそして活動の開催促進を目的に作られています。

本文書は、国際連合食糧農業機関(FAO)及び世界保健機関(WHO)により出版された“A GUIDE TO WORLD FOOD SAFETY DAY 2021-Safe food now for a healthy tomorrow”を、厚生労働省の研究事業\*の一環として日本語に翻訳したものである。原文と翻訳に相違がある場合は、原文が優先される。

\*令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食品行政における国際整合の確保と食品分野の国際動向に関する研究」(研究代表者：渡邊敬浩)

To let us know about your event  
or ask a question, email us on  
[World-Food-Safety-Day@fao.org](mailto:World-Food-Safety-Day@fao.org)

[www.fao.org/world-food-safety-day](http://www.fao.org/world-food-safety-day)  
[www.who.int/world-food-safety-day](http://www.who.int/world-food-safety-day)

#WorldFoodSafetyDay

©FAO and WHO, 2021



Some rights reserved. This work is available  
under a [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/) licence